



酔った勢いで

ねむろさんと

×××

しちゃっ  
言話





まえがき  
自分の描く漫画の  
イラストって線が割と均一で  
死んでるよなあと反省し、  
今まで基本的にGペンで  
線画描いてたのを、  
フリー素材の「線画用ペン」に  
切り替えてみました。  
実際どうなるか  
印刷してみないと  
わかんないけど。

荒野 沖





こんな所で  
野良妖怪に  
出くわすとは

クツツ……  
振り切れない……っ!



おい犬コロ

ここはうちの

道連れに  
して――



クツツ……  
限界が――

畜生……ッ!  
ならばせめて  
一匹だけでも





縄張りだべ!



た……助けて  
くれたのか……?

ん……?

まあ……たく……  
騒がしいと思つたら  
あの犬コロもどきが



別に……

うちの縄張りに  
入り込んだ奴らを  
追い払ったただけだべ

ああ……そうか……  
いや結果的には  
助かった  
ありがとう

おめえさ  
人間だな？

道さ迷ったか  
あいつらに  
追われたか

人里までは  
そこそこの距離だが  
帰れるか？

ああいや……  
ちよつとキツそうだ

足か……結構  
深くやられてんな

正直  
歩くのも  
キツイ

しょうがねえな  
手当するから  
うち来い

飯と寝床くらい  
用意してやんべ

怖い人かと思ったら  
凄く親切だ





坂田ネムノ  
種族は山姥……

彼女の家に  
向かう途中  
色々な話をした

不思議と恐怖は  
感じなかった



山奥に一人で  
住んでいる事  
近隣の妖怪とも  
あまり付き合いが無い事

話に気を取られている間  
足の痛みを  
紛らわせる事ができた

これも彼女なりの  
気遣いなのだろうか



山姥……  
人を喰らう鬼  
山の恵みを  
司る神

様々な伝承が  
あるが……  
さて……

いやどの道  
落としていた命だ

それに犬の妖怪に  
食われるならともかく  
こんな別嬪さんなら  
食われても文句は無えな



あまり動くなよ  
傷が広がるぞ

ああ……  
すまない……

結局の所  
俺の妄想は杞憂で  
しつかりと手厚い  
処置までしてくれた



代わりに簡単な  
家事だけでも  
手伝うことにした



しかも  
人里まで帰れる程度に  
回復するまで  
ここに居て良いという



人間の作る食事が  
舌に合うか不安だったが  
気に入って貰えたようだ



幸い料理や  
掃除などは  
心得があった



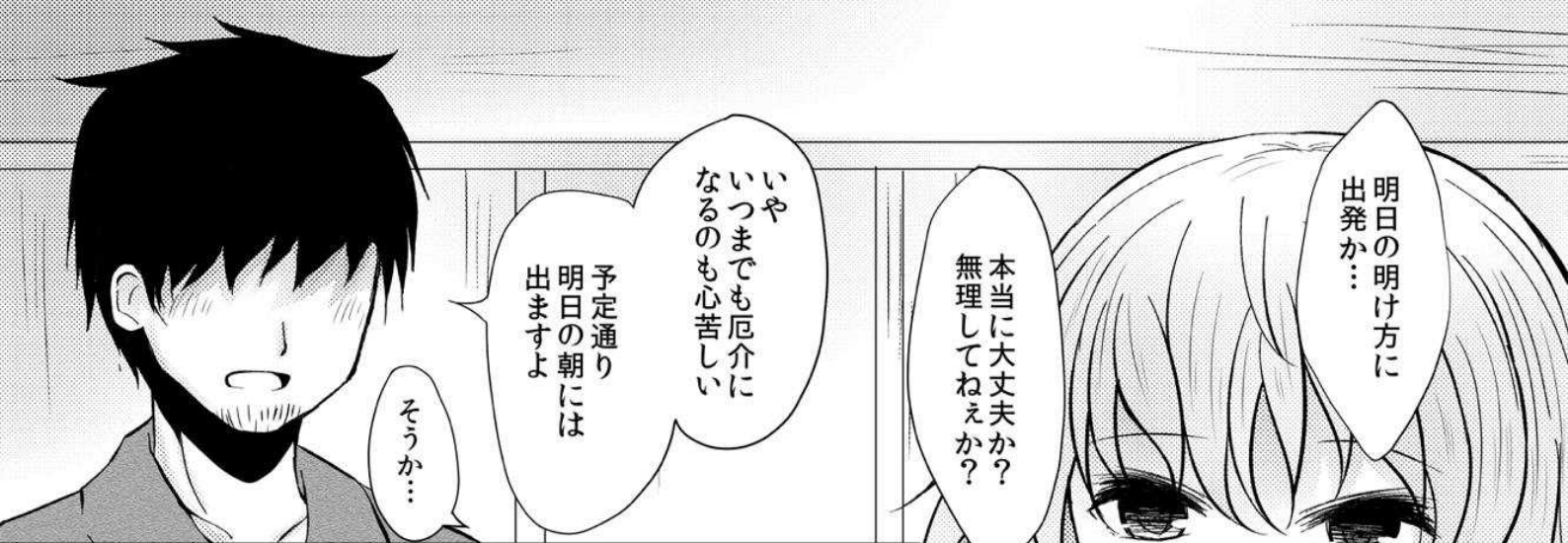
ただ……問題は  
こんな美人さんと  
一緒に暮らしていると

恩人に対して  
良からぬ感情を持って  
しまいそうになる……

今のところ  
自制できているが

そうして  
身体の傷も十分に癒え……





明日の明け方に  
出発か…

本当に大丈夫か？  
無理してねえか？

いや  
いつまでも厄介に  
なるのも心苦しい

予定通り  
明日の朝には  
出ますよ

そうか…



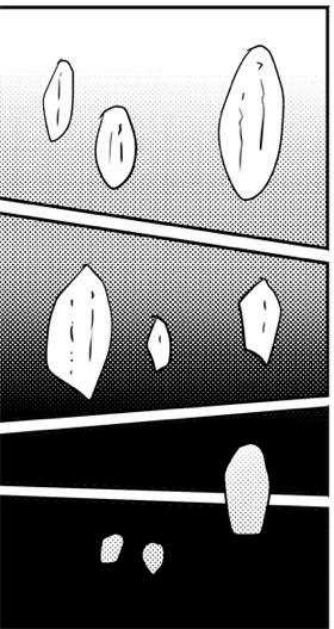
うっす！  
二日酔いに  
ならない程度に！

それだば  
今日は  
酒だべ！  
とりあえず  
飲め！  
よし！



おめえの  
作った飯  
美味かったぞ

いやいや  
こちらこそ



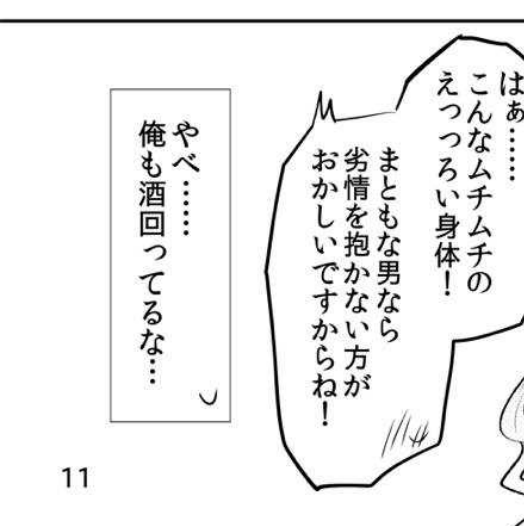
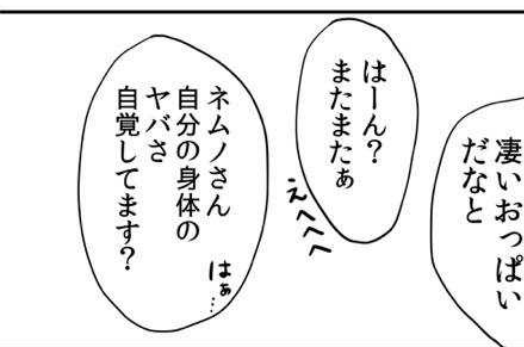
はあ…

そうさな…  
うちの縄張りに  
また人が来ても面倒だべ  
帰ったらこの周囲に  
近寄んなって人里で  
広めとけ

だがそれじゃ  
俺の気が

馬鹿たれ  
無理すんな  
いいから里でしっかり  
養生しとけ

このお礼は  
近いうちに必ず









こーんな  
ららないからだの  
山姥れすけどお  
抱けるもんなら  
抱いてみれ

はっはっ

ろーせ口だけの  
おべっかだつて  
わかってるべき



俺俺!!

まーれも  
おしえじでも  
嬉しかった...

え.....?

王里小生



ふにやあああ  
ああああ!

え?

ほえ!

もう  
我慢なんか  
できません!





止めて!

ややめ……!

好きです!  
ネムノさん!

まさか  
ネムノさんから  
誘われるなんて  
思っても無かった

あわわわ  
ちよつと……

え?  
あ……



いつてるズキーンッ!

やめろつて!



やっぱ……  
からかっただけ  
だったんですね  
あはは……

な……っ!  
そうじゃねえんよ!



わや!

らいじょーぶか!

大丈夫ツス……  
これくらい……

ゴフツ……

ちよつと



そんな大きく  
なるとか知らねえし

それに!  
それに!

まさか…ホントに  
押し倒されりゆなんて  
思わず……ビククリして

むしろそつちが  
ふざけてたんだと  
思ったべき!

ムム

ふる  
ふる



聞いても  
いいのかな

なんら?

あ……  
その……



自分が  
そういう対象らとか  
思うわけなかんべ

悪いか?  
今までじゅつとで  
山暮らしらべ?  
ほかの種族の  
奴と会っても  
こわがられるしな

ネムノさんて  
実は処

カアア





そっか

なるほど  
こつちも  
悪かった…

無理やり  
襲つちまう  
所だった

がく…

あ…はな…

でも……  
勢いとはいえ  
「好きです」なんて  
言われりや

うちも  
嬉しいべき



らから…その…  
あのう…うう…

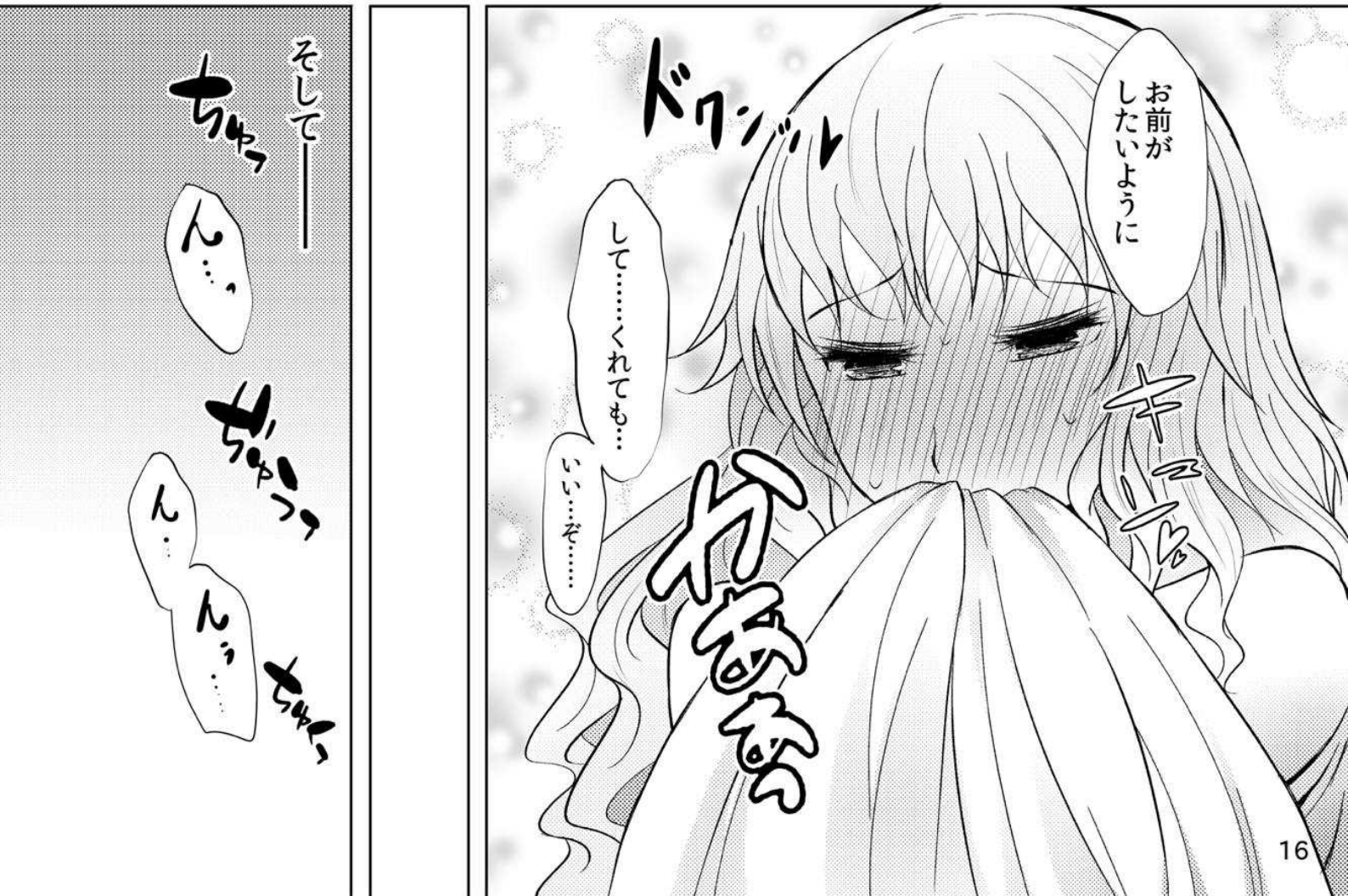
うちも  
本当はなあ

ドキッ

えっと

ドキ

ほんとに…うちの…  
ことなあ…らから



お前が  
したいように

ドクッ

して…くれても…

い…ぞ…

かあぁ

そして—

ちゅっ

ん…

ちゅっ

ん…ん…













恩人に  
不埒な感情を  
抱いてはと  
自重していたが

時々目のやり場に  
困っていた程の  
凶悪な身体

完全に油断しきつた  
たぶたぶな乳



初めてだったのに  
おっぱいも口も  
精液を搾り取ろうと  
いやらしく  
包み込んで来る…

このまま  
ぎゅっと  
啜え込んで



射精してえ…  
思い切り  
ぶちまけてえ!

もう限界だ…!



凄いエロい…

汚したい

犯したい



あのネムノさんが  
俺のを…







全部流し込む

ドロドロ

んっ  
んっ  
んっ……

このまま  
喉奥まで……

ぐん、  
ぐん、

ぐん、  
ぐん、



けほっ

溢れた精液で  
顔も胸も  
ドロドロに……

ドロ…

でもまだ……  
まだ足りない……  
もつと汚したい……

はあ…

はあ…

けほっけほっ…  
こほっ……

ぬ  
とほ  
とほ

とろ…

はあ…

はあ……

ネムノさん  
俺……







我慢なんかできねえ!

ネムノさん!  
ごめん!

俺:滅茶苦茶に  
犯したい!

ガンガン突いて  
中出して  
孕ませて!

俺の子を  
産ませて!

嫁さんにして  
暖かい家庭  
作りてえ!









子宮の中に全部！  
ぶちまけたい！

キスしながらの  
全力挿挿……！！

子宮口に  
当たってる

まっ……てえ！  
しよとにらして！  
なかあ……らめえ！

こんな膣内味わって  
果てずに抜くなんて  
できるわけ無い！

もう無理ですよー！

ブチ込みます！

それに……  
こっちは  
膣内に欲しがってる  
みたいで

ここに来てから  
溜まりに溜まった  
精液……全部……





孕ませ責任覚悟の  
全力膣内射精ッ！



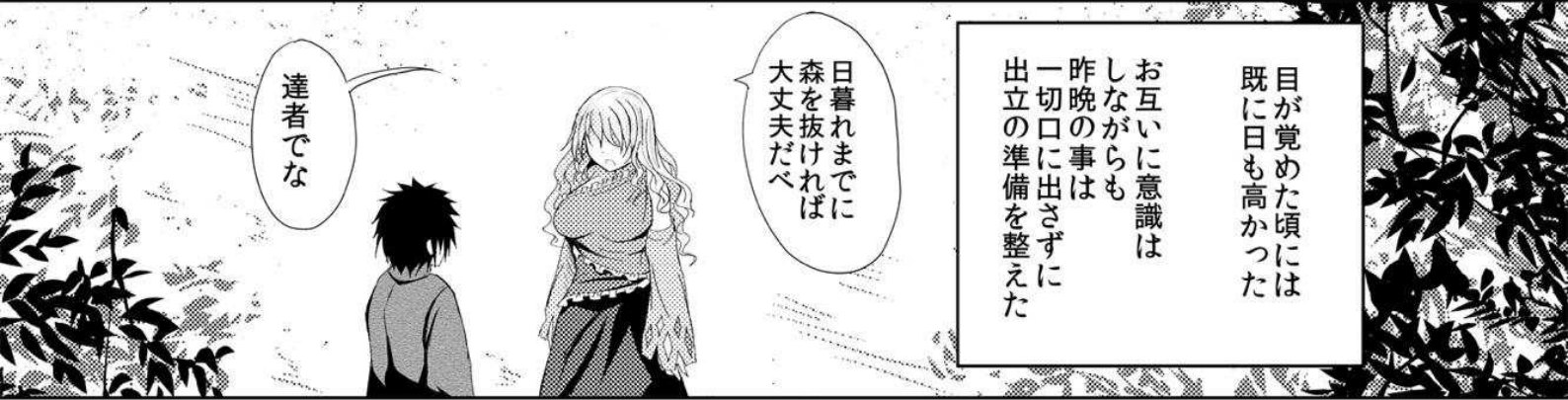
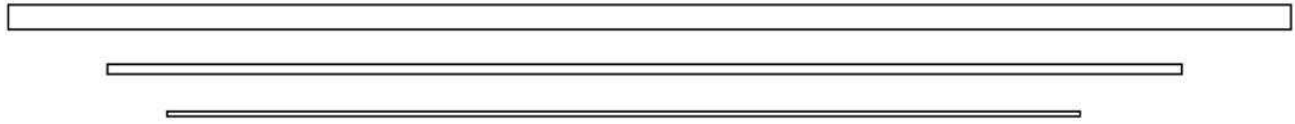


その後  
何度も何度も  
子種を撃ち放った

彼女は最後まで  
抵抗することもなく  
受け入れてくれた

最後の方は  
記憶も朦朧げで  
ただ獣のように  
交わった事だけ  
覚えている

ゴポオ...



達者でな

日暮れまでに  
森を抜ければ  
大丈夫だべ

目が覚めた頃には  
既に日も高かった  
お互いに意識は  
しながらも  
昨晚の事は  
一切口に出さず  
出立の準備を整えた



があああ



今度は  
酒が入ってない  
状態で俺の気持ちを  
伝えたい



...いやまた来る

もうここらに  
近寄んなよ...





わた  
わた

え?あの道から  
ですかい?

次に来るなら  
山道沿いの一本杉の  
脇の小道から入れ

ああああああ!  
わかった!  
わかったべ!  
今度来たらな!

だからもう  
早う行け!

そこだけ  
うちの能力で  
安全な場所に  
しといてやる

ぐい  
ぐい



お酒……?  
いいですけど

あ……あとな…  
もし今度来るなら  
酒…買ってこい

だからもし  
また来るなら  
ちゃんと無事にな

ドキ

ドキ

ドキ



あと……  
何日か泊まれるだけの  
準備もしてこい

次回来た時は  
逆に搾り取られそうな  
気がする




あ……あれな……

かま

やっぱ…  
酒…入ってねえと  
恥ずかしくて……  
無理……





あとかき  
初めての方は初めまして。  
そうでない方はお久しぶりです。荒野沖です。  
ゆっくり解説動画作ったりコラ画像作ったり  
イラスト描いたりしてたりします。  
「新作の中でネムノさんが一番エロいなあ…  
でも薄い本少ないやんけ！描かなきゃ(使命感)」みたいな  
感じのテンションで作りました。

とりあえず「おねショタは絶対他のサークルさんと  
ネタかぶるから止めとこ」と考えてこんな内容に。  
少しでも楽しんで貰えたら幸いです。  
あと、おまけページにお菊さん漫画も描きました。  
このおまけページ、以前に作った本の後日譚になるのですが  
その本はpixivで同人再録という形で全ページupしてありますので  
興味ある人は探してみてください。

荒野 沖



Q.誰この娘？  
A.東方深秘録に登場する  
物部布都のオカルト

Q.何故描いた？  
A.趣味

# おまけペーじ

新妻お菊さんと  
♡ラブラブ種付け♡  
♡なからだし♡  
♡室内射精えっち♡

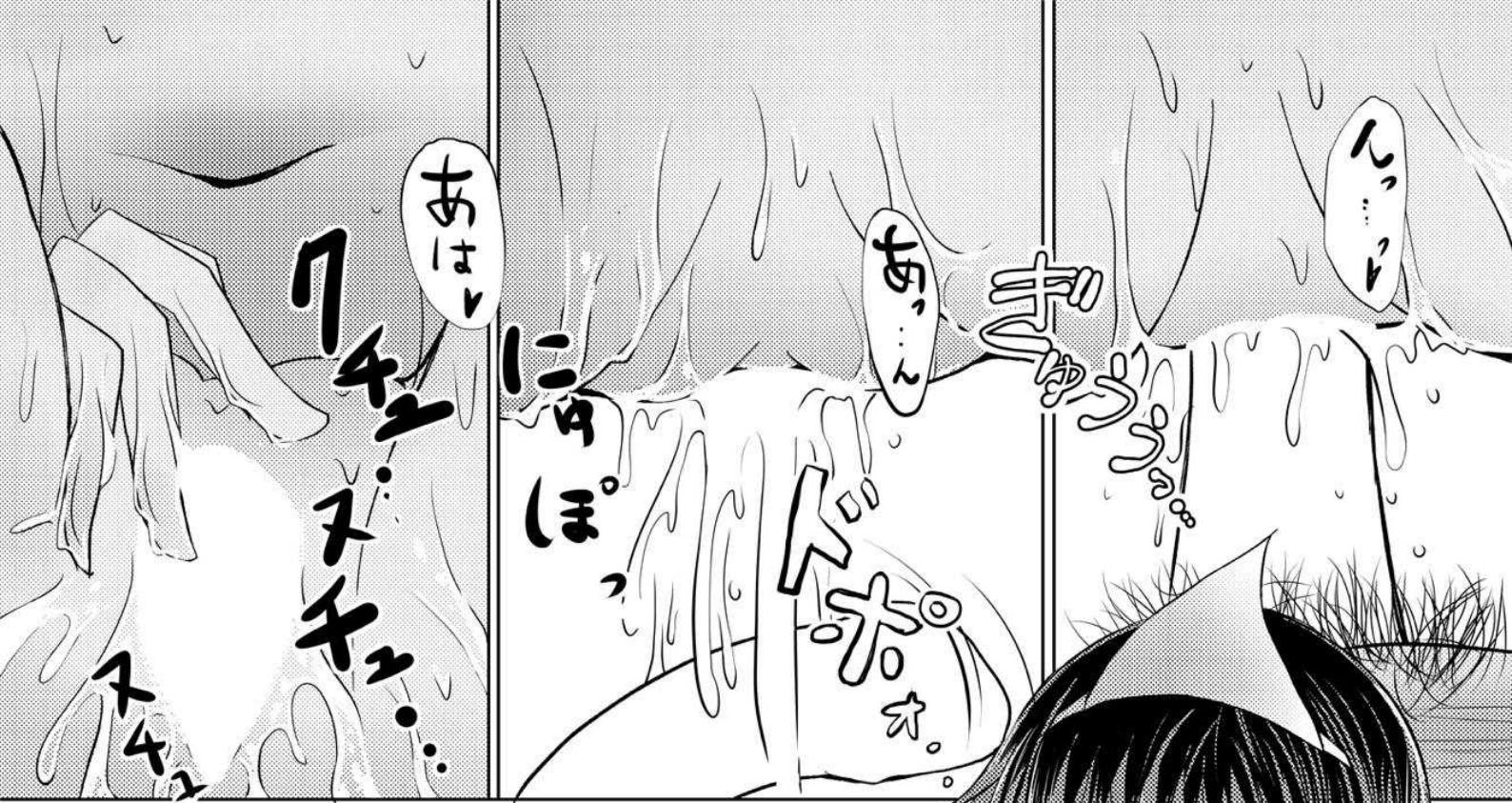
ん……  
もう朝……か……  
つてうおおおお!

お菊さん  
また俺が寝てるうちに  
くっ……!!

最近  
朝起きるときは  
概ねこんな感じだ

勿論昨日の晩も  
体力の限界まで  
搾り取られている





祝言を挙げてから  
およそ半月……  
最初の頃は  
恥ずかしがっていたが  
最近ではまるで  
サキユバスのように  
淫靡で積極的だ

膣奥を強く突けば  
キユウつと強く締め付け  
甘えた喘ぎ声は  
嗜虐心を唆らせる

ぬるぬる



確か……昨日も  
お互いに我慢できなくなって  
早めに寝床で……  
微かに聞こえる乱れた吐息に  
理性がドンドン失われて……  
ただただ犯すことしか  
考えられなくなつて……

はー

はー

はー

はー

服をはだけ  
あらわになつた  
乳房……  
下腹部に目をやれば  
あそこは既に  
ひくひくと震えて  
愛液を滴らせ  
男を迎え入れる  
準備ができています

いきり立つた愚息が  
ニユルリと膣内に  
吸い込まれたかと思えば  
激しく彼女の身体が震える  
どうやら挿入だけで  
軽くイッてしまったらしい

軽く口づけを交わすと  
前戯も無しに  
彼女に覆い被された





その後  
獣のように  
お菊さんの身体を  
貪りつくした

すぢゅ

すぢゅ

すぢゅ

すぢゅ



嬌声を上げる彼女を  
抱え込み力の限り  
腰を打ち付ける

彼女が絶頂に達しても  
その速度を緩めない

喘ぎ声が段々と  
泣き叫ぶ様な響きになる

それがさらに  
俺を興奮させた

あー

あー

あー

が...

あー

あー

すぢゅ



お互いの体力が  
尽きても  
男性器は膣から  
抜かずにその感触を  
味わう...

繋がったままで  
胸を虐めたり  
舌を絡め合ったり  
お菊さんの全身を  
余すことなく  
堪能する

あー

あー

あー

あー

あー



膣内を蹂躪した後は  
口と胸での奉仕

挟み擦り吸い上げ……  
舌先は亀頭と尿道をまさぐり  
一心不乱に下品な音を立てて  
しゃぶり尽くす

かほ♡

かほ♡

かほ♡

かほ♡

時にはわざと甘噛みじ  
こちらを挑発するかのよう  
に甘えた声で喘ぐ……

膣穴から溢れる愛液と精液の  
匂いも合わさり  
五感の全てでお菊さんを感じる

かほ♡

かほ♡

ん……

ん……

ん……

かほ♡

あ……ん

ちゅる

ちゅるるるる

ん……

かほ♡









その後にはゆつくりと  
甘い時間を過ごすように  
種付け交尾の再開

オカルトでもちゃんと  
妊娠するらしい

この調子なら子供を  
授かるのも  
時間の問題だろう

お菊さん  
元気な赤ちゃん  
産んでね

結局この後も  
お昼まで  
種付けえっちした

お菊さん……  
子供は欲しいけど  
俺も体力に限界が……

腎虚で  
死んじゃう……





お菊さんページの後書き

とりあえずエロいお菊さんが  
沢山描けて満足しました(♡V♡)  
以前の本に比べてエロさも  
上がっていると思います  
上がっているんじゃないかな  
上がっていればいいな  
いやガチエロ作家の方々に  
比べればまだまだですが…

■奥付■

発行者：荒野 沖(ふらふらトキシシ)

発行日：2018年5月6日

印刷：ねこのしっぽ

原作：東方project

連絡先：<https://www.pixiv.net/member.php?id=12135>





Touhou  
Project  
Fanbook  
For adult only

ふらふら  
トキシン